

3 平成28年度学校評価報告書(目標設定)

学校目標	取組の内容	
	具体的な方策	評価の観点
<p><教育課程・学習指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上と学習習慣の確立を目指す。 ・校内授業研修を通して、アクティブラーニングの視点を踏まえた授業の研修を推進する。 ・ GTEC 、 Vocabulary contest により英語力の伸長を図る。 ・英語検定試験の受検者数の増加を図る。 ・学校行事や生徒会活動により、自主的活動の活性化を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)EBS(朝の学習)の充実を図る。 (2)ALC(土曜講習)の定着を図る。 (3)「マイレージ通信」を発行し、生徒の学習意欲を喚起する。 (4)高大連携プログラムを推進し、自ら学ぶ態度を育成する。 (5)1学期、2学期の2回の授業研修を実施し、アクティブラーニングを取り入れた授業の研修を行う。 (6)GTECの活用や、Vocabulary contestの事前学習指導により、英語力向上を図る。 (7)広報等により実用英語技能検定試験の受検を推進する。 (8)体育祭、文化祭、球技大会等の準備・企画運営や参加を通して、生徒の自主性を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)実施回数、生徒の取り組み状況、内容。 (2)実施回数、参加生徒数。 (3)発行回数、内容。 (4)参加生徒数。履修状況。学習効果。 (5)職員アンケートの分析。 (6)GTEC450点以上の人数。 (7)英検準2級、2級の取得者数。 (8)体育祭実行委員など、各学校行事に関わる委員会を計画的に開催し、生徒が主体的に準備・企画運営ができたか。
<p><生徒指導・支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生対象の多文化教室による学習支援、生徒支援体制を充実させる。 ・生徒個々に応じた様々な支援体制の充実を図る。 ・生徒の規範意識の醸成に努める。 ・部活動の活性化に努め、責任感の涵養を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)多文化教育コーディネーターと本校教員による支援を充実させる。 (2)教育相談コーディネーターを中心にSCとの連携を深め、相談窓口の円滑な運営を図る。 (3)生徒指導週間や学年集会などで、基本的生活習慣の確立を図る。 (4)部活動加入率の向上を目指す。部長会や部活動集会により、責任感を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)生徒アンケートの分析。 (2)スクールカウンセラーや保健室の利用状況。 (3)生徒の学校生活の状況。 (4)1年生の部活動加入率。部長会や部活動集会を必要に応じて行い、部員の規範意識や責任感が高まったか。
<p><進路指導・支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の進路希望の実現に向けての進路指導を行う。 ・計画的なキャリア教育の実現をめざす。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)年間指導計画にもとづく計画的進路ガイダンスを展開する。 (2)インターンシップ教育の推進。 (3)各学年での進路選択のための講演会等の実施。 (4)学力診断テストの実施、結果分析及び計画の見直し。外部業者の模擬試験の斡旋により適性を判断させる。 (5)面談等による細やかな進路指導。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)卒業時の進路実績。 (2)インターンシップ参加者数。 (3)アンケートによる生徒の満足度。 (4)模試の受験者数。 (5)生徒からの相談実績。
<p><地域との協働></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信を行う。 ・保護者や地域と連携した活動の推進 ・貢献活動により、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)学校説明会、授業参観、ホームページを活用した情報発信。 (2)PTAや警察と連携した交通安全指導、地域における各種活動への生徒の参加。 (3)部活動や委員会の活動を、地域や行政機関と連携して行い、本校の取り組みを理解してもらう。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)学校説明会などへの参加者数、ホームページの更新回数等。 (2)生徒が参加した活動の数、参加した生徒数等。 (3)部活動や委員会活動で、地域や行政機関の要請を検討し、連携して取り組んだ内容及び回数。
<p><学校管理・学校運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の防災意識の向上に努める。 ・教育環境の整備を推進する。 ・学力向上に貢献する読書活動の推進を目指す。 ・ナレッジマネジメントの構築のためのインフラ整備を行う。 ・安全・安心の教育環境づくりを推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)防災訓練、シェイクアウトなどで自ら身を守る方策をとらせる。 (2)清掃の励行。 (3)学校図書における生徒の読書環境を整備する。 (4)知識共有のためのファイル管理をすすめる、作業の効率化、可視化をすすめる。 (5)不祥事防止に向けて、タイムリーな情報提供、教員主導の事故防止会議の開催。 (6)学校評議員会等からの意見聴取。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)訓練の状況等。 (2)清掃点検等。 (3)授業、生徒の利用状況など。 (4)ファイル管理の進捗状況。 (5)不祥事防止に向けての教員相互の注意喚起による状況の変化。 (6)具体的な意見聴取、学校への提言。